

地図で見る滋賀県市町の姿

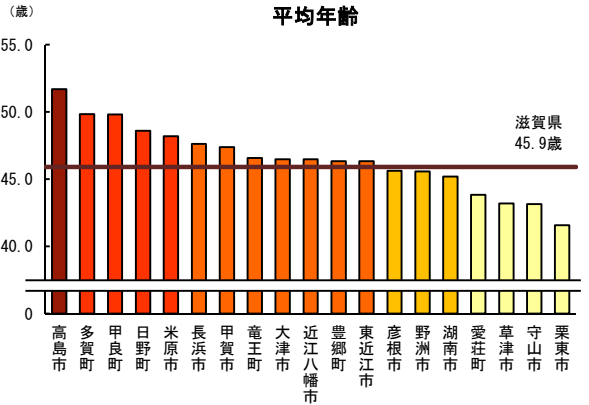
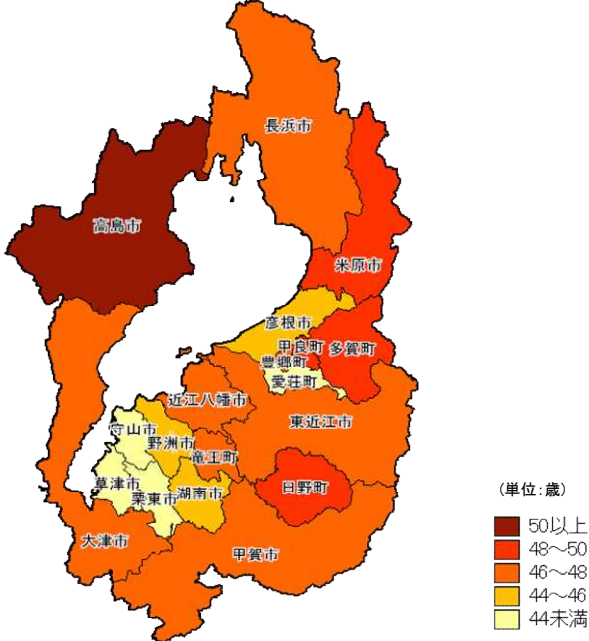
滋賀県内の各市町の統計データを地図とグラフで表しました。
 自分の住んでいる市や町がどんなところか周囲の市や町と比べてみてください。
 なお、人口、工業の製造品出荷額等は「図で見る滋賀県の姿」に掲載しています。

①平均年齢

「令和2年国勢調査」

令和2年10月1日現在の住民の平均年齢を市町別にみると、栗東市が41.6歳で最も低く、次いで守山市が43.2歳となっています。
 一方、高島市が51.7歳で最も高く、次いで多賀町が49.8歳となっています。

①平均年齢



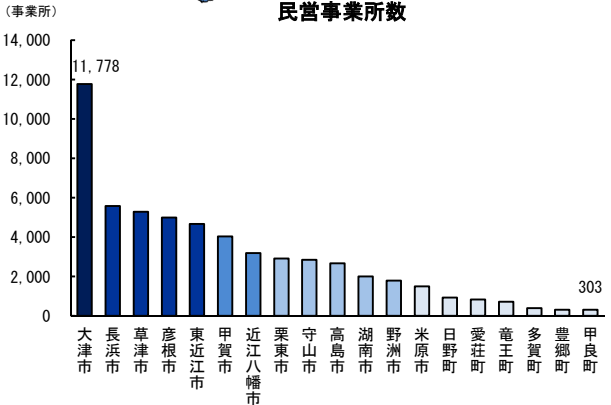
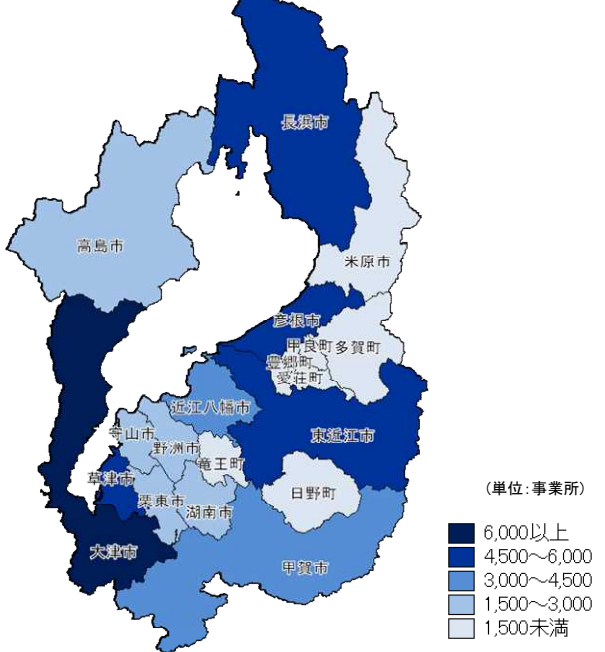
②民営事業所数

「平成28年経済センサス-活動調査」

平成28年6月1日現在の民営事業所数を市町別にみると、大津市が1万1,778事業所で最も多く、次いで長浜市が5,583事業所、草津市が5,278事業所、彦根市が4,983事業所となっています。
 一方、最も事業所数が少ないのは、甲良町の303事業所となっています。

※1 事業内容等不詳を含む

②民営事業所数



③就業者のうち第2次産業に従事する人の割合

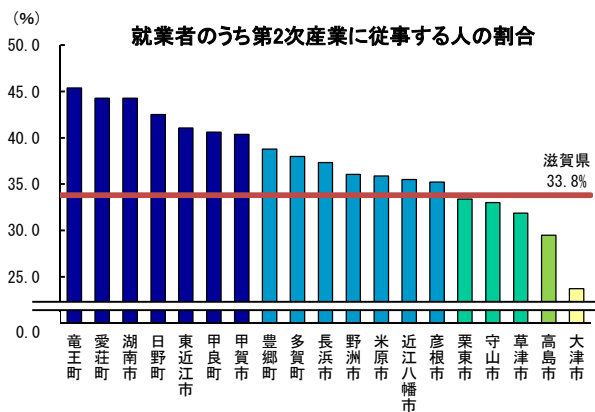
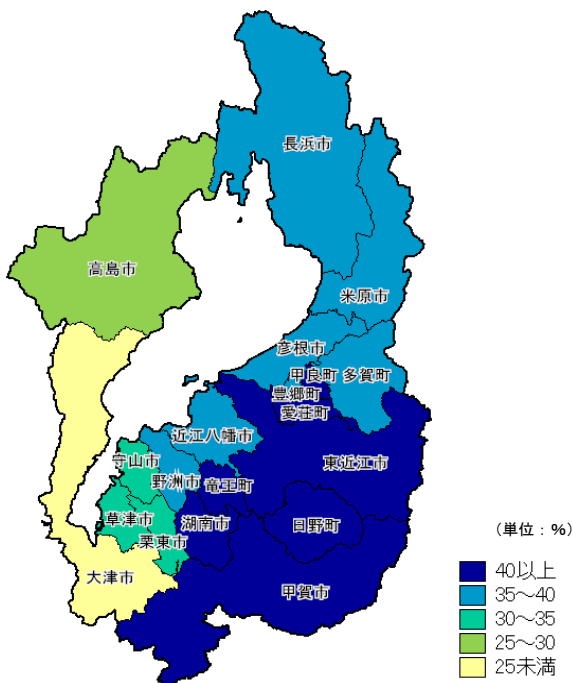
「平成27年国勢調査」

就業者のうち第2次産業に従事する人の占める割合を市町別にみると、竜王町が45.4%と最も高く、次いで愛荘町と湖南省が44.3%となっています。

一方、大津市が23.7%と最も低く、次いで高島市が29.5%、草津市が31.9%となっています。

※2「分類不能の産業」はどの産業にも分類されないため、割合の算出において、分母から除いている

③就業者のうち第2次産業に従事する人の割合



④刑法犯認知件数

(人口千人当たり)

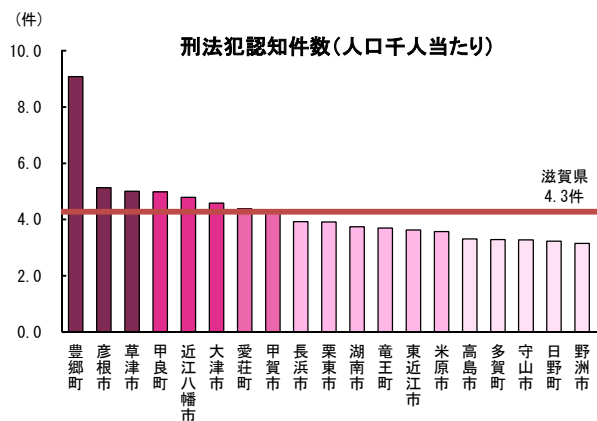
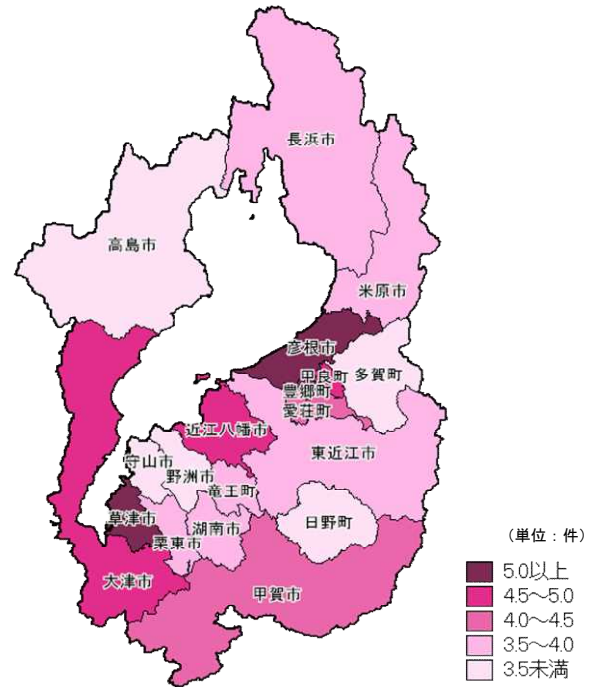
「滋賀の犯罪 令和2年」

人口千人当たりの刑法犯認知件数を市町別にみると、豊郷町が9.1件と最も多く、次いで彦根市が5.1件、草津市が5.0件となっています。

一方、野洲市が3.1件で最も少なく、次いで日野町が3.2件、守山市が3.3件となっています。

※3「発生地不明」は除く

④刑法犯認知件数 (人口千人当たり)



⑤交通事故発生件数

(人口千人当たり)

「滋賀の交通 2020」

人口千人当たりの交通事故発生件数を市町別にみると、竜王町が3.5件と最も多く、次いで湖南市が2.5件、豊郷町が2.3件となっています。

一方、日野町が1.1件と最も少なく、次いで甲良町が1.4件、甲賀市が1.6件となっています。

※4 市町別値には「高速道路等」の件数を含まない

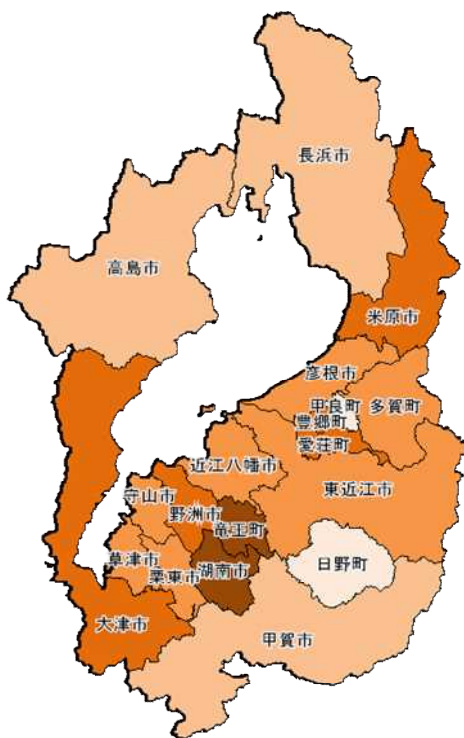
⑥一般診療所1か所当たり人口

「医療施設調査 令和元年」

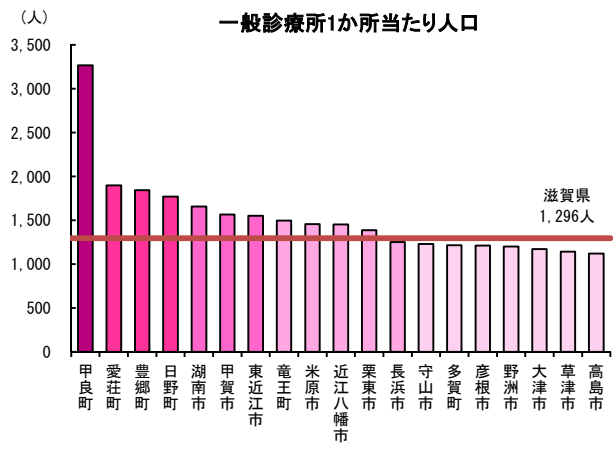
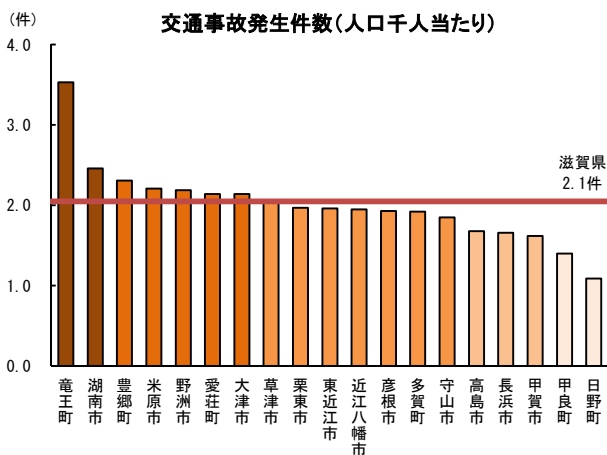
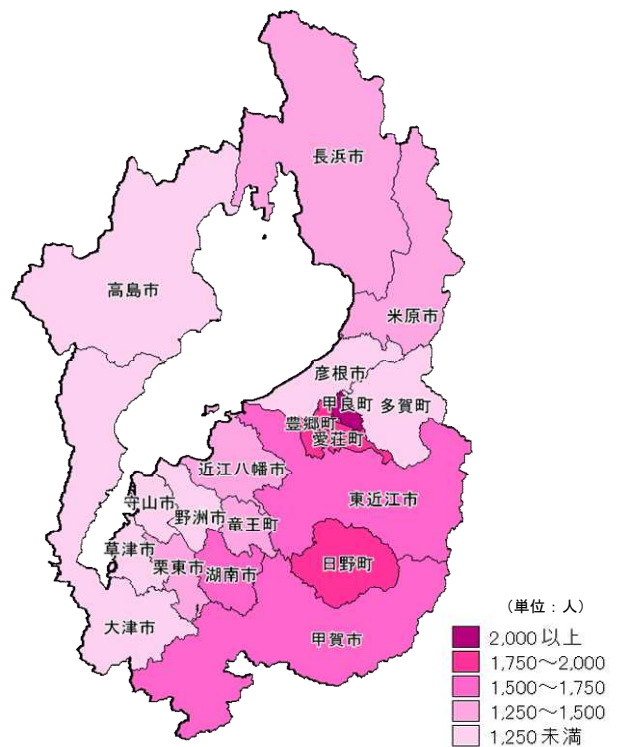
一般診療所1か所当たりの人口を市町別にみると、高島市が1,122人と最も少なく、次いで草津市が1,145人、大津市が1,172人となっています。

一方、甲良町が3,266人と最も多く、次いで愛荘町が1,898人、豊郷町が1,845人となっています。

⑤交通事故発生件数 (人口千人当たり)



⑥一般診療所1か所当たり人口



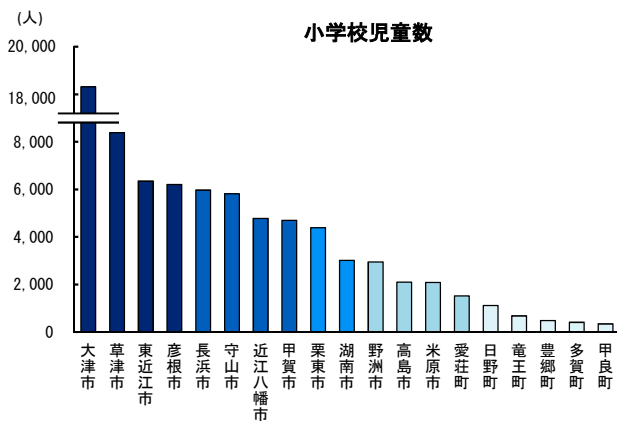
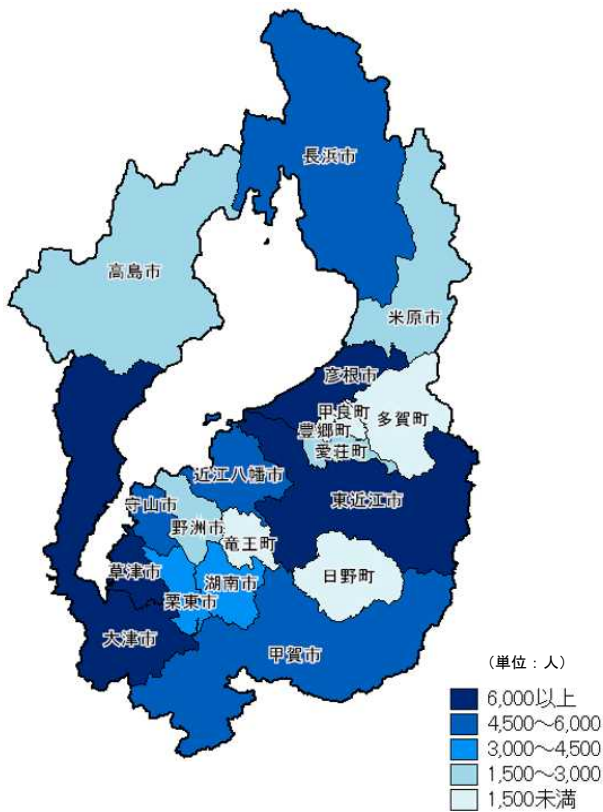
⑦小学校児童数

「学校基本調査 令和3年度」

令和3年5月1日現在の市町立小学校の児童数を市町別にみると、大津市が18,311人と最も多く、次いで草津市が8,382人、東近江市が6,346人となっています。

一方、甲良町が344人と最も少なく、次いで多賀町が412人、豊郷町が488人となっています。

⑦小学校児童数



⑧ラスパイレス指数*

「県市町振興課」

令和3年4月1日現在のラスパイレス指数を市町別にみると、守山市が103.4で最も高く、次いで草津市が101.0、野洲市が100.8となり、100.0以上の団体は4団体となっています。

一方、甲賀市が96.9と最も低く、次いで豊郷町が97.2、愛荘町が97.3となっています。

*国家公務員行(一)の俸給月額を100とした場合の地方公務員一般行政職の給料水準を示す指数

⑧ラスパイレス指数

